

酒田市芸術文化振興計画（仮称）

第2回検討委員会

日時：平成29年8月29日（火）午後7時

会場：酒田市市民会館「希望ホール」小ホール

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶 酒田市教育委員会教育長 村上 幸太郎

3. アドバイザー挨拶

4. 報 告

(1) アンケートの実施結果について (資料1、資料1参考資料)

(2) インタビューの実施結果について (資料2)

5. 協 議

(1) 基本的施策案について (資料3、資料4)

(2) その他

6. その他

(1) 今後のスケジュールについて

【追加】第3回検討委員会 平成29年10月20日（金） 午後7時～ 会場未定

芸術文化振興計画（仮称）素案を提案予定

第4回検討委員会 平成29年11月20日（月） 午後7時～ 会場未定

第3回の結果を踏まえた修正案を提出予定

7. 閉会

酒田市芸術文化振興計画（仮称）
策定に伴うアンケート

－ 集計・分析 －

平成29年（2017年）8月

中川 幾郎

特定非営利活動法人NPO政策研究所

酒田市芸術文化振興計画（仮称）策定に伴うアンケート

目次

I	調査の目的	1
II	調査の実施概要	1
III	アンケート調査結果について	2
	基本事項	2
	芸術文化活動を行う環境について	4
	芸術文化活動について（芸術文化活動のしやすさ）	5
	鑑賞機会について（鑑賞機会の充実）	6
	酒田市について（芸術文化と酒田市の活力）	7
	酒田市の文化資源について	8
	酒田市の主要な文化施設について（文化施設に対する関心度）	9
	人材育成について（子どもの芸術文化に触れる機会の充実）	12
	酒田市がめざす方向性について（社会包摂について）	14
	どのような事業（芸術文化活動）を希望	17
	どのようにすれば芸術文化活動に参加しやすくなるか	17

I 調査の目的

本アンケート調査は、酒田市芸術文化振興計画（仮称）策定のために市民の芸術文化に関する実態と意向を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施された。

II 調査の実施概要

1. 調査方法

- 1) 調査方法：郵送によるアンケート調査。
- 2) 調査対象：酒田市に住所を有する市民（16歳以上）2,000人。
回収数：555人（回収率27.75%）。
- 3) 調査時期
2017年（平成29年）7月24日～8月10日

4) アンケート調査の内容

主な調査項目は以下の通りである。

- ① 基本事項（住所、年代、性別、職業）
- ② 芸術文化活動のしやすさ
- ③ 鑑賞機会の充実
- ④ 芸術文化と酒田の活力
- ⑤ 酒田市の文化資源
- ⑥ 文化施設に対する関心度（希望ホール、土門拳記念館、酒田市美術館、本間美術館他）
- ⑦ 子どもの芸術文化に触れる機会の充実
- ⑧ 社会包摂について
- ⑨ 芸術文化事業の希望、芸術文化活動への参加のしやすさ

2. 分析の方法

- ・集計には、母集団の推計を行うことが目的であるため、原則として「無回答」を除いた。
- ・単純集計の構成比の合計が四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。
- ・原則として、「満足」と「ほぼ満足」を合わせ「満足」とし、「やや不満」と「不満」を合わせ「不満」とした。類似の選択肢も同様とした。ただし、一部はこれらを分けて分析した。

3. 注記

- ・原則として、結果自体の記述は要旨のみにとどめ、分析コメントを付す。
- ・内閣府「文化に関する世論調査」（平成28年9月調査）、（平成21年11月調査）を一部参照した。
- ・山形県「山形県文化振興プラン」（平成28年3月）掲載の、山形県の文化芸術に対する県民意識（平成26年度県政アンケート調査の結果）を一部参照した。

Ⅲ アンケート調査結果について

基本事項

居住地

	今回アンケート		国勢調査(2010)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
計	526 (件)	100.0 (%)	111,151	100.0
1.旧市内	432	82.1	93,187	83.8
2.平田地区	36	6.8	6,544	5.9
3.松山地区	21	4.0	4,901	4.4
4.八幡地区	37	7.0	6,519	5.9

年代

	今回アンケート		国勢調査(2015)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
計	555 (件)	100.0 (%)	106,244	100.0
1.10代	21	3.8	9,197	8.7
2.20代	25	4.5	7,255	6.8
3.30代	34	6.1	11,194	10.5
4.40代	71	12.8	13,180	12.4
5.50代	96	17.3	14,252	13.4
6.60代	138	24.9	17,952	16.9
7.70代	93	16.8	13,338	12.6
8.80代	57	10.3	11,993	11.3
9.90代以上	13	2.3		
10.無回答	7	1.3	390	0.4

注：国政調査の「無回答」は「年齢不詳」である。

性別

	今回アンケート		国勢調査(2015)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
計	535 (件)	100.0 (%)	106,244	100.0
1.男性	211	39.4	50,293	47.3
2.女性	324	60.6	55,951	52.7

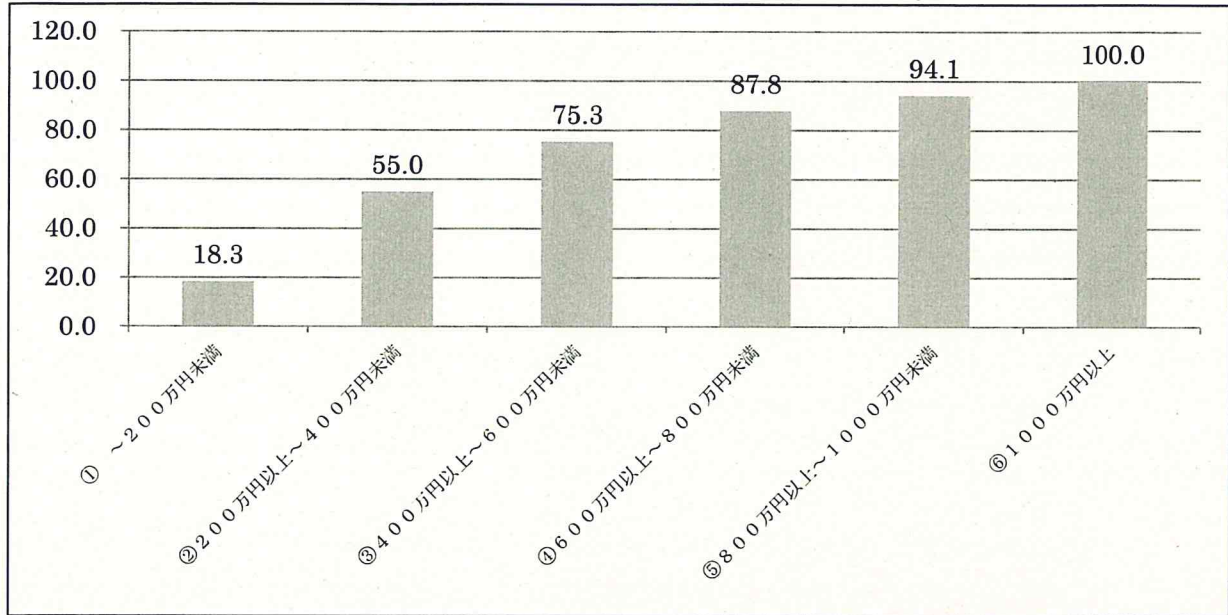
職業

計	533 (件)	100.0 (%)
1.会社員	179	33.6
2.自営業	57	10.7
3.公務員	23	4.3
4.学生	21	3.9
5.無職	241	45.2
6.その他	12	2.3

- 回答者を居住地別に見ると、「旧市内」と「松山地区」が人口に比べてやや低い。
- 「30代」以下の年代の回答率はやや低い。一方、「50代」～「70代」ではやや高く、特に「60代」では人口構成を大きく上回っている。
- 性別にみると、「男性」の回答率が低く、「女性」の回答率が高い。
- 職業別には、「無職」の比率が高いが、これは年代構成を反映しているものと思われる。ちなみに、酒田市の女性就業率の「V字型」は、平成22年の国勢調査では顕著に見られなくなっている（出典：「酒田市人口減少（自然減、社会減）の概要について」平成26年7月、酒田市企画振興部）。
- 回答者の構成は、実際の状況とはやや異なるため、回答の分析にはその点への配慮が必要である。特に、年代による意向の差には注意が必要である（もっとも、高齢化率が2015年の国勢調査によると32.5%であることもあり、全体として高年齢の意向が強く出ていることは否めない）。

問 31 | 芸術文化活動を行う環境について【参考】

●世帯所得について



- 世帯所得の分布を累積図で示す。500万円未満で全体の約半分強である。
- 設問とのクロス集計により、所得水準との関係が見えてくるかもし「無回答」を除く
- なお、酒田市の一人あたり所得は年間約260万円である。

●家族構成

1人	2人	3人	4人	5人以上	計
43	150	90	79	112	474
9.1%	31.6	19.0	16.7	23.6	100.0
27.0%	28.4	19.1	12.8	12.5	100.0

注：最下段は国勢調査(2015)による酒田市の構成比である。

●健康状態について

とても健康	まあ健康	あまり健康でない	健康でない	計
132	245	52	38	467
28.3%	52.5	11.1	8.1	100.0

- 回答者の家族構成は、「1人」および「5人以上」において実態と大きく異なる。高齢者の回答が多いことの反映であろう。
- 「健康」と答えた人は88.8%である。「健康でない」人への文化へのアクセスの確保が課題となる。

芸術文化活動について（芸術文化活動のしやすさ）

問 1 酒田市は芸術文化活動に参加しやすいまちだと思うか

酒田市は芸術文化活動に参加しやすいまちだと思うか	①そう思う	②ある程度そう思う	③どちらともいえない	④あまりそう思わない	⑤全くそう思わない	計
	81	198	169	85	7	540
	15.0%	36.7%	31.3%	15.7%	1.3%	100.0%

- 約半数が「そう思う」（51.7%）と答えており、「そう思わない」（17.0%）人に比べ相当に多い。
- ただし、「どちらともいえない」（31.3%）人の割合は相当に多く、この人達がどちらを向いてくれるかが課題である。
- 「そう思わない」理由としては、「情報がない」こと、「会場への交通が不便である」こと、「魅力のある公演等が少ない」などがあげられている。これらは、それぞれに対処が一定可能であり、将来的に「そう思う」となる可能性は十分あると考えられる。

問 2 この1年間に、芸術文化活動に参加したか

この1年間に、芸術文化活動に参加したか	①参加した	②参加していない	計
	154	394	548
	28.1%	71.9%	100%

- 「参加した」（コンサート等鑑賞も含まれている）の28.1%に比べ、「参加していない」が71.9%と倍以上多い。しかし、一般的に、鑑賞（多様なスタイルがある）に比べ、自ら活動に参加する人はそれほど多くはないのが実態である。平成21年内閣府調査によれば、鑑賞を除く文化芸術活動の経験を「特に行ったことはない」と答えた人は76.1%であった。
- 「参加の仕方」は、鑑賞、サークル活動が一般的である。中には「企画側」として活動もあった。
- 「参加していない」理由は、「きっかけがない」（含「情報がない」「身近な所に施設がない」「身近にある施設が使いにくい」ことと、「自分に合う文化活動がない」こと、生活スタイルが合わない（「仕事や家庭が忙しいから」「めんどうだから」「興味がない」）と大きく三つに分かれる。
- 「きっかけがない」に対しては、文化活動に関する情報提供を進めること、施設への交通手段を検討すること、施設の使い方をよくするなど、対応が可能である。
- 「自分に合う文化活動がない」に対しては、もう少し広域圏で考えること、活動を自らが始める（起業すること）ためのノウハウを提供すること、などの対応の方向が考えられる。
- 生活スタイルが合わない人に対しては、多様な入り口を用意すること、文化活動の楽しさを一度体験してもらう、などの対応の方向が考えられる。
- ここで、「その他」意見として記述されていたことについて触れておく。ここに現れているのは、文化活動に参加できない（したくても）事情があることが浮き上がる。それは、高齢や障がい、

病気のため、介護のために参加できないという実態であり、おそらく本アンケート結果以上の現実があるものと考えてもよいだろう。これは、「課題」であると同時に、酒田らしい文化の「展開可能性」を示唆しているものと受けとめるべきである。全国的に高齢化が進む中で、心豊かな人生をいつまでも送るために今こそ「文化」への参画（享受、活動）への途を拓くことが求められていると言えよう。新しい、『文化の酒田モデル』構築のチャンスであろう。

問3 酒田市の芸術文化活動の現状に満足しているか

酒田市の芸術文化活動の現状に満足しているか	①満足している	②ほぼ満足している	③やや不満である	④不満である	⑤わからない	計
	38	196	58	29	216	537
	7.1%	36.5%	10.8%	5.4%	40.2%	100%

- 「満足」(43.6%)は多く、一方、「不満足」(16.2%)は少ない。ただし、「不満足」と「わからない」を合わせると56.4%となり、「満足」を超える。「わからない」とした人に積極的に情報を提供するなどして、「満足」にシフトさせることが課題となろう。
- 「不満」の理由は問2とほぼ同じなので、対応は前述の通り。

鑑賞機会について（鑑賞機会の充実）

問4 この1年間に、芸術文化施設等で鑑賞をしたか

この1年間に、芸術文化施設等で鑑賞をしたか	①鑑賞した	②鑑賞していない	計
	202	324	526
	38.4%	61.6%	100%

- 「鑑賞した」は38.4%である。内閣府の調査（平成28年）では59.2%であるが、こちらには映画（アニメ除く）鑑賞も含まれている。
- 「鑑賞した」内容は多岐にわたるが、酒田の民俗伝統芸術である「黒森歌舞伎」や「松山能」も挙がっており、地域の文化資源として活用の可能性を示唆している。
- 「鑑賞していない」理由は、問2とほぼ同じである。対応策はそちらを参照されたい。

問5 問5 どのようなものを鑑賞したいか（自由回答）

- ジャンルは多様。有名なものを希望する声が多い。
- 一方、酒田市を拠点に活動している劇団の演劇、というものもある。
- また、黒森歌舞伎などをもっと市民に知らせたいという意見もある。

酒田市について（芸術文化と酒田市の活力）

問6 酒田市は活力あるまちだと思うか

酒田市は活力あるまちだと思うか	①思う	②ほぼそう思う	③あまり思わない	④思わない	計
	39	124	274	68	505
	7.7%	24.6%	54.3%	13.5%	100%

- 酒田市に活力があると「思う」人(32.3%)は、そう「思わない」人(67.7%)の約半分に過ぎない。
- 「思わない」理由は、大企業の工場もあるが産業が低迷していること、若い人が少ない、人口減少、酒田市の情報が知られていないなどがあげられている。また、「一部の人のみ」が盛り上がっているという声もある。
- また、都市の「核」がなく、人々があつまる賑わいの場が足りないという認識も見受けられる。

問7 市の活力に芸術文化は必要だと思うか

市の活力に芸術文化は必要だと思うか	①思う	②ほぼそう思う	③あまり思わない	④思わない	計
	288	154	63	6	511
	56.4%	30.1%	12.3%	1.2%	100%

- この問いに対して、「そう思う」(86.5%)人が圧倒的であり、「思わない」(13.5%)に大差を付けている。これだけ、文化芸術の役割を認識しているにもかかわらず、それが現実には弱いこともあり、都市の活力への低い評価につながっていると思われる。
- 問5、問6と合わせ、酒田市に不足しているものは、一に、酒田市の資源を正當に評価（再評価）すること（市民に理解させること）、二に、資源（現在では資源と見えていないものも含めて）を組み合わせ、見える化し、市民に自分の事として感じられるものに組み立てていく（演出する）プロデュース機能であると思われる。
- この時、酒田市だけでなく、鶴岡市を含めた庄内地域としての、文化的・歴史的ストーリーを描き、それを市及び庄内地域内外に発信していくといいのではないかと。

問8 酒田市は市外に発信力のあるまちか

酒田市は市外に発信力のあるまちか	①思う	②ほぼそう思う	③あまり思わない	④思わない	計
	38	162	234	66	500
	7.6%	32.4%	46.8%	13.2%	100%

- 「思う」が40.0%、「思わない」が60.0%で、「思わない」が「思う」の1.5倍もある。
- 風土としておっとりしたところのある都市であり、酒田市の持つ固有性・有意性を発信することにあまり積極的でないのかもしれない。しかし、鶴岡市と比較する意見も多く、もっと発信力を増していきたいという意向は強い。

○まずは、「発信したい」こと、モノを自ら明らかにして、それらを大切にする。その後、それらを発信していく、というような流れをつくる必要があるだろう。

酒田市の文化資源について

問9 文化資源について誇りをもっているか

問10 国内外に誇れると思う文化は何だと思うか

問11 誇れる文化事業は何か

問9 文化資源に ついて誇り をもっている か	①誇りを持っている	②誇りを持っていない	③文化資源を知らない	計
	368	70	70	508
	72.4%	13.8%	13.8%	100%

○問9 酒田市の文化資源については、「誇りをもっている」(72.4%)が約3分の2を大きく超えている。その内容は(問10)、土門拳記念館、本間美術館、史跡旧鑑屋、本間家旧本邸、山居倉庫、鑑屋、遊心館等、また黒森歌舞伎、松山能他の伝統芸能等、さらに、自然環境、食の資源などもあげられている。

○文化資源への「誇りを持っていない」と「文化資源を知らない」はともに12.6%と同じである。この二つの選択肢は実は同じことを意味しており、「知らない」→「誇りに思うものがない」というロジックが潜んでいる。逆に言えば、情報を提供すれば「誇りを持つ」比率は上がっていくと考えられる。

○問11の、「誇れる文化事業」としては、上記の他には、つるし雛、芋煮会、寒ダラ祭、酒田祭り、港祭り、甚句流しなどが挙げられている。これらはまだ市民間で共有されていないと思われるので、こういう「隠れた」資源(名前を聞いたことがあっても見たことがない、市民で顕彰する雰囲気乏しい、など)を見える化し、共有していくという方向が考えられる。

問12 市内で文化活動をしている方を知っているか

市内で文化活動をしている方を知っているか	①知っている	②知らない	計
	121	366	487
	24.8%	75.2%	100%

○「知っている」は24.8%と少ない。具体的な内容も、サークル活動をしている人があげられている程度である。有名人としては、白崎映美、市原多朗。

(小括)

○酒田市の文化資源については、土門拳記念館、本間美術館等、希望ホール、市立美術館、山居倉

庫、鑑屋等の歴史文化施設、あるいは黒森歌舞伎、松山能等の伝統文化はそれなりの知名度はあるが、それ以外に全市的なシンボルとしての文化資源は少ないと認識されている。

- ここで感じられるのは、文化資源を狭くとらえているのではないか、ということである。また、本来文化資源として認知されるべきものが、あまり知られていないという懸念が感じられる。資源として少数の人が挙げていた、たとえば「各地域で受け継がれている祭り、獅子舞など」、「江戸時代の刺し子」、「最上川と流域の文化の 始点・終点としての酒田の文化」、「子供歌舞伎(千川)」など、今一度新たな視点で見直し、位置づけることも考えられる。
- また、地元学等の手法を活用し、これまで見えていなかった「文化」資源を発掘することも考えられる。
- 「文化活動をしている方」については、文化活動に携わる人へのヒアリング調査を通して浮かび上がらせていくとよいのではないかとと思われる。

酒田市の主要な文化施設について（文化施設に対する関心度）

問 13	酒田市民会館「希望ホール」を知っているか
問 14	「希望ホール」に行ったことがあるか

問 15	土門拳記念館を知っているか
問 16	土門拳記念館に行ったことがあるか

問 17	酒田市美術館を知っているか
問 18	酒田市美術館に行ったことがあるか

問 19	本間美術館を知っているか
問 20	本間美術館に行ったことがあるか

■施設を知っているか

	①知っている	②知らない	計
酒田市民会館「希望ホール」	540	7	547
	98.7%	1.3%	100%
土門拳記念館	540	8	548
	98.5%	1.5%	100%
酒田市美術館	500	27	527
	94.9%	5.1%	100%
本間美術館	517	12	529
	97.7%	2.3%	100%

■施設に行ったことがあるか

	①1回行ったことがある	②複数回行ったことがある	③行ったことがない	計
酒田市民会館「希望ホール」	70	404	70	545
	12.8%	74.3%	12.8%	100%
土門拳記念館	137	341	68	546
	25.1%	62.5%	12.5%	100%
酒田市美術館	102	320	103	525
	19.4%	61.0%	19.6%	100%
本間美術館	116	290	121	527
	22.0%	55.0%	23.0%	100%

■これらの「知っている」（認知度）、「行ったことがある」（利用度）、を集約する。

(%)

	知っている（認知度）	行ったことがある（利用度）
希望ホール	98.7	87.2 [74.3]
土門拳記念館	98.5	87.5 [62.5]
酒田市美術館	94.9	80.4 [61.0]
本間美術館	97.7	77.0 [55.0]

注：[] 内は複数回利用

- 4館とも認知度は高い。特に、「希望ホール」と「土門記念館」はほぼ全市民が知っていると言ってもよいと思われる。
- 利用度も傾向的には認知度と同じである（ポイントは約12%低い）。また、リピーターが多いのが特徴である。ホールは原則的に演目が毎回変わるのでもリピーター率が高いのは当然であるが、美術館関係の3館でリピーター率が高いのは注目に値する。収蔵品に限られていることから、企画の妙が繰り返し訪問するインセンティブになっていると思われる。
- 「行ったことがない」理由は、どの館もほぼ同じであるが、「興味・関心がない」、「情報が届かない」が主たる理由である。ただ、これらへの対応はもちろん必要ではあるが、リピーター率を高水準に保つことも重要である。
- 全国的に著名な「土門記念館」、「本間美術館」は、市外・県外からの来館者も多いと思われる。館独自のアンケート等とつぎあわせればもう少し利用状況がわかるだろう。
- いずれにせよ、認知度、利用度の高さは、これらの施設が市民に親しまれ、市民の誇りとして意識されていることがうかがえる。

問 21	現在住んでいる地域の公民館を知っているか
問 22	現在住んでいる地域の公民館に行ったことがあるか

■施設を知っているか

	①知っている	②知らない	計
地域の公民館	496	30	526
	94.3%	5.7%	100%

■施設に行ったことがあるか

	①1回行ったことがある	②複数回行ったことがある	③行ったことがない	計
地域の公民館	44	405	74	523
	8.4%	77.4%	14.3%	100%

■これらの「知っている」（認知度）、「行ったことがある」（利用度）、を集約する。

	知っている（認知度）	行ったことがある（利用度）
地域の公民館	94.3%	85.9% [77.4%]

注：[] 内は複数回利用

- 地域の公民館の認知度は高く(94.3%)、利用度も85.9%とこれも高い。
- 「複数回行ったことがある」の割合も73.0%であり、「行ったことがある」449人のうち「複数回行ったことがある」人は405人と90.2%を占めている。
- なお、「複数回」の内訳は10回以上が多く（累計と思われるが）、一人あたりの利用頻度も高いものと推察される。
- このように、地域の公民館は、住民に親しまれ、活用されていることがわかる。

問 23	公民館での芸術文化活動に満足しているか
------	---------------------

公民館での芸術文化活動に満足しているか	①満足している	②ほぼ満足している	③やや不満である	④不満である	計
	48	217	40	25	330
	14.5%	65.8%	12.1%	7.6%	100%

- 「満足している」は80.3%と高い評価がなされている。
- 「行ったことがない」の内訳は、受け身的に公民館を見ている傾向があると感じられた。また、「一部の人」の利用が目立ち、利用しづらいと言う声もある。
- 「参加しやすくなる」条件としては、回答は少ないが、「体験型事業」、「参加型事業」、「交流事業」、「講座」などが期待されている。
- なお、問いの「公民館での芸術文化活動」というのは、活用状況を正しく反映しているのかどうか。公民館では、必ずしも芸術活動を目指しているわけではなく、むしろ学習活動・交流・福祉活動が重視されているのではないだろうか。

問 24	酒田市総合文化センターを知っているか
問 25	酒田市総合文化センターに行ったことがあるか

■施設を知っているか

	①知っている	②知らない	計
酒田市総合文化センタ	515	20	535
	96.3%	3.7%	100%

■施設に行ったことがあるか

	①1回行ったことがある	②複数回行ったことがある	③行ったことがない	計
酒田市総合文化センタ	36	454	42	532
	6.8%	85.3%	7.9%	100%

■これらの「知っている」(認知度)、「行ったことがある」(利用度)、を集約する。

	知っている (認知度)	行ったことがある (利用度)
酒田市総合文化センター	96.3%	92.1% [85.3%]

注：[] 内は複数回利用

- 中央公民館、中央図書館等の複合施設である酒田市総合文化センターの認知度は96.3%と、地域の公民館以上に高い。
- 利用度も92.1%と高く、リピート率(行ったことがある人の内複数回行った人の比率=454/490)も92.7%に達している。これには、図書館の持つ特性(「繰り返し行く」「ついでに立ち寄る」などの人が多い)が大きく寄与していると思われる。

人材育成について (子どもの芸術文化に触れる機会の充実)

問 26 子どもたちが芸術文化に触れる機会の提供に満足しているか

子どもたちが芸術文化に触れる機会の提供に満足しているか	①満足している	②ほぼ満足している	③やや不満である	④不満である	⑤わからない	計
	31	142	75	18	250	516
	6.0%	27.5%	14.5%	3.5%	48.4%	100.0%

- 「満足している」は31.2%、「不満である」は18.0%であるが、ここで「わからない」が48.4%であることに留意すべきである。満足、不満足を問わず、この設問に答えられるのは、子どもを持つ親か学校(教育)関係者、この問題に強く関心を持つ人だけであろう。その意味で、「満足」と「不満足」の関係に絞って見るのが適切であろう。
- 「満足」あるいは「不満足」と回答した人(266人)の内、「満足」は65.0%、「不満足」は35.0%であった。「満足」が約3分の2と高いのだが、むしろ「不満足」が約3分の1もあることの方が重

要である。

- 「不満足」の内容を聞いていないので断定はできないが、「不満足」には、「量」の面と「質」の面とがあり、そのいずれか、あるいは双方に不満があるということであろう。
- まずは、市民に、子どもたちが芸術文化に触れる機会をどのように提供しているかについての情報を知ってもらうことが重要である。その上で、市民の声として、「やはり、子どもたちが芸術文化に触れる機会を与えることは、子どもの成長にとって非常に大きな役割がある」という共通認識を持てるようにしていく。結果的に、「わからない」(48.4%)という人を減らしていくことになる。

問 27 学校での芸術文化活動に満足しているか

学校での芸術文化活動に満足しているか	①満足している	②ほぼ満足している	③やや不満である	④不満である	⑤わからない	計
	42	147	62	12	246	509
	8.3%	28.9%	12.2%	2.4%	48.3%	100.0%

- 問 27 も、問 26 と同じ構造なので同様に処理する。本設問も、関わりを持たない人にとっては答えにくいので、「わからない」が 48.3%と多くなっている。
- 「満足」あるいは「不満足」と回答した人(263人)の内、「満足」は 71.9%、「不満足」は 26.1%であった。「満足」は問 26 よりやや高くなっている。こちらも「不満足」が 26.1%と比較的多く、不満足の原因を探ることが、学校での芸術文化のカリキュラム構成やクラブ活動の見直し＝活性化にあたって重要である。
- 市民への情報提供も大切だが、まず、保護者に学校での芸術文化活動の意義を理解してもらうことが重要である。

問 28 子どもたちの教育・人材育成に重点を置いた芸術文化事業の展開をどう思うか

子どもたちの教育・人材育成に重点を置いた芸術文化事業の展開をどう思うか	①とても良い	②良い	③あまり良くない	④良くない	⑤その他	計
	265	209	8	4	30	516
	51.3%	40.5%	1.6%	0.8%	5.8%	100.0%

- この設問では、「その他(わからないが含まれる)」が少ないのは、実態の評価というより、理念＝理想について聞いているからであろう。
- この方向性は、おおむね「良い」(91.9%)という評価である。あまり具体性のない「その他」の回答をはずせば、比率はもっと高くなる。
- この方向性は、ほとんどの人が「良い」としているが、その施策の具体的組み立てには、問 26、問 27 で「不満足」とされた内容を慎重に分析し、実効性あると同時に、「芸術文化」の特性である、美しさ、心を動かす力、既存の枠を乗り越える志向、多様性・包括性などを活かすような方向が必要であろう。

酒田市がめざす方向性について（社会包摂について）

問 29	芸術文化は、孤立、コミュニケーション能力の低下、不登校など社会の課題に対しても効果があるといわれています。酒田市としては、社会の課題に対して事業を展開することで、より多くの人々が元気になれるような方向性を目指していきたいと考えています。このことについてどのようにお考えになりますか。
------	---

- 設問に書かれている「社会包摂」の考え方は、芸術文化の役割の大きな部分を占めており、人々を社会的孤立化から守る、あるいは多文化共生を推し進める、事を通して、市民のつながりを創出し、誰もが生きていくよろこびを確かなものにしていくということである。
- 衛紀生氏（岐阜県可児市文化創造センター館長兼劇場総監督）は以下のように述べ、文化の社会包摂機能の意義を語っている。「大事なのは社会で孤立してしまう人たちをどういうふうに文化の社会包摂機能というものを使って、社会の一員として、コミュニティーの一員として受け入れ、その中で孤立を防ぐかということです。」（2014年11月舞鶴市におけるシンポジウムでの発言）
- 社会包摂の考え方は、国の文化芸術振興基本法（平成29年6月より「文化芸術基本法」）に基づく「第3次文化芸術の振興に関する基本的な方針」（平成23年2月閣議決定）に姿を見せ、第4次基本方針（平成27年5月閣議決定）でも明確に基本視点として位置づけられている。以下に、第4次基本方針の一部をあげておく。

文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）平成27年5月22日

2 文化芸術振興の基本理念等

(3) 基本的視点

[公共財・社会包摂の機能・公的支援の必要性]

文化芸術は、成熟社会における成長の源泉、国家への威信付与、地域への愛着の深化、周辺ビジネスへの波及効果、将来世代のために継承すべき価値といった社会的便益（外部性）を有する公共財である。

また、文化芸術は、子供・若者や、高齢者、障害者、在留外国人等にも社会参加の機会をひらく社会包摂の機能を有している。

このような認識の下、従来、社会的費用として捉える向きもあった文化芸術への公的支援に関する考え方を転換し、社会的必要性に基づく戦略的な投資と捉え直す。

これを受けて、第3章 文化芸術振興に関する基本的施策の中に以下の施策が位置づけられた。

(2) 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

(3) 青少年の文化芸術活動の充実

(4) 学校教育における文化芸術活動の充実

- 賛同の意見がほとんどだが、前向きな付帯意見、留意点等の指摘もある。（意見数 241）
- ただ、具体的提案ではないので、受け取り方も子どもにも積極的に芸術文化に触れさせる、から高齢者の居場所づくりまで幅がある。しかし、この市民のとらえ方の幅の広さや柔軟性は具体的な施策展開に活かしていける重要な素材であると思われる。
- 否定的な意見はほとんどないが、10数名の「分からない」という声もある。

○留意点としてあげられているのは、

- ・本当に必要としているところに情報がとどくのか。結実させる必要がある。
- ・計画倒れにならないか。具体的な施策、行動として実施してほしい。
- ・効果をきちんと予測して実施すべき。
- ・持続的に進めていくことが大切。
- ・自発的に参加したくなるようにすることが大切。
- ・市民が参画・参画できる余地を確保してほしい（参加したい）。
- ・先入観にとらわれない事業展開をすべきだ。
- ・ICTを活用すべき。

などがあげられている。

○ただ、「社会包摂」という用語に違和感を持つ人があった。より市民に訴求する用語（キャッチフレーズ）を用いることが、市民の参加や共感を得るためにも必要であろう。

○主な意見を以下にあげておく。

- ☆事業を展開すること自体は良いことだと思うが、具体的にそのような人達に対してどのようにアプローチしていくかが鍵だと思う。コミュニティへの働きかけを始め、興味を持たせる為の工夫など。
- ☆地域の発展には、これからの未来を担っていく若者の力が大切だと思います。芸術文化で社会問題に対する事業を展開するのなら、若者が積極的に参加できるような環境があるといいです。
- ☆とても良いと思いますが、本当に必要としている人に情報が届き、利用する機会をきちんと用意できて、選んでもらえるような努力が必要だと思います。内輪の盛り上がりは意味ないです。
- ☆強制ではなく、自主参加で。費用負担がないように。
- ☆子供達がまわりと同じように、みんな同じようにふるまうのではなく、芸術文化を通じてみんなちがってみんないいという考えが広まることを願います
- ☆何かに参加したり、何かを感じたり、それによって元気になれる人が多くなるのであれば大変良いことだと思います。個々の事情も様々な中でひとつのきっかけとなって生きる力となればなによりです。一人でも多くの方が元気になれるよう願っています。
- ☆何らかの形で市民が参加できれば（家から引っ張り出せば）とても良いと思います
- ☆上記課題（設問に示された）の解決には、それぞれの家庭の持つ問題をなんとかしなければ、最終的に解決にはならないと思う。片親家庭、貧困など、根の深い問題が多い。芸術文化事業に縛られないもっと大きなくりの事業が欲しい。
- ☆同意見です。各世代が参加できる事業を行ってもらい、共感を共有できる社会づくりに取り組んでいただきたい。市民の関心の高まりが、将来、一番の文化資源になるはず。
- ☆家族構成や地域社会のつながり等の変化とともに、社会生活面の変化を考慮したニーズの分析と斬新な発想、魅力的計画・実践が必要と思う。

問 30	昨年度、土門拳の作品展をイタリアのローマで開催しました。芸術文化は、外国の人たちとコミュニケーションを図る上でも意義のあるものとして認識されています。酒田市としては芸術文化を国際交流にも活かしていきたいと考えますが、このことについてどのようにお考えになりますか。
------	---

○これも賛同の意見がほとんどだが、前向きな付帯意見、留意点等の指摘もある。(意見数 247)

○否定的な意見はほとんどないが、若干名の「賛成ではない」という声もある。

○留意点としてあげられているのは、

- ・一部の人の活動にならないようにすべき。
- ・事業の目的、目標を明確にすることが必要(何を、何のために発信するのか、)。
- ・酒田の文化を、まず地元の人(子どもから大人まで)がしっかりと認識、理解し、自分たちのものとして共有される必要がある。
- ・一方通行ではなく、相互に交流を図ることが大切だ。
- ・アジアにも目を向ける必要がある。
- ・もっと情報を発信してほしい。
- ・市民の参加の機会があればよい。
- ・気軽な交流も大切だ。
- ・一過性のものでなく、持続して推進していくことが大切だ。
- ・事業の評価をきちんと行い、税金を無駄に使うことのないように。
- ・酒田だけでなく、庄内地域でまとまって行うことを考えてはどうか。

○主な意見を以下にあげておく。

<p>☆いいと思います。芸術を通じて交流するのは世界共通だと思うからです。言葉がわからなくても OK だから。</p> <p>☆外国との国際交流をしていることを市民に伝わっていないのではないかと思います。市民が酒田の芸術文化を誇りに思わなければ市が国際交流を進めても芸術活動がさかんな所とは呼べないと思う。</p> <p>☆酒田市だけでなく、日本全国、海外に発信していくことが大切だと思う。観光や交流はものだけでなく、魅力的な文化等も非常に大きい役割を果たすと思うから。</p> <p>☆地元である市民がまずどの程度理解しているか、興味をもっているか把握する事が必要だと思う。その為に関連施設への投資(援助)があれば、垣根を広げ、国際交流に活かせるのではないか。</p> <p>☆芸術文化は、言葉が通じなくても、コミュニケーションはつながります。とても大切な事だと思います。お互いの文化を知ることでお互いの視野が広がっていくことはとても良い事だと思います。</p> <p>☆国内だけでなく、海外にも酒田の文化を知ってもらえるのは良いことだと思います。そのことで海外からの観光客が増えれば、町の活性化につながるのではないのでしょうか。</p> <p>☆国際交流とか、遠征とか、大げさに構え過ぎず、基本的にオープンなコミュニケーション活動として、地域住民が先ず楽しむ事！その後、外部からの評価が高まって来るのではないのでしょうか。</p> <p>☆良いと思います。山居倉庫に時々行きますと、全国各地、世界各地(中国、台湾、ベトナム)</p>
--

ム、アメリカ)の方々が訪問しています。その方々がどの程度酒田のことを知るのかわかりませんが、夢の蔵の山居倉庫群と、ケヤキの並木には皆さん「ステキ！」と言っていました。特におひなさまシーズン。

☆外国人観光客を多く招致したいだけのコミュニケーションではない形の国際交流を望みたい。そもそも文化芸術という物は、長い年月をかけて地域に根ざしてきたものなので、上滑りしないことを望みます。

☆当然のことである。と同時に事業結果について評価を忘れず、市民に周知すべきである。土門拳の作品展ローマ開催についていえば市民目線ではビジョンが見えず何を発信するのかもよくわからないまま「やりましたよー」だったのではないかな。

どのような事業（芸術文化活動）をご希望ですか。

- 市民は、多様な芸術文化活動（公演、展覧会等）を望んでいることがわかるが、ここではジャンルや演目についてはさておき、方向性のみを記す。（意見数 165）
- 多くの人は、調査票の例示に引きずられている感があるが、「質の高いもの」を求めている。この意味するところは、酒田市ではなかなか観たり聴いたりできない演劇やコンサート、展覧会への希望が根強くある、ということだろう。芸術文化に対する基本的欲求といえるだろう。これは、鑑賞機会の強化ということになるだろうが、要望が多様化している現在、何を提供するかは慎重な見極めが必要だろう。
- また、「参加型」の公演、展覧会等への希望も多い。単なる受け身だけではない芸術文化活動のあり方が求められている。
- 地元酒田で活動している芸術文化団体の活動にもっとふれたいという要望もある。

どのようにすれば芸術文化活動に参加しやすくなりますか。

- 「どのようにすれば芸術文化活動に参加しやすくなるか」という問いに対し、多くが「鑑賞」等の受け身の参加を想定した意見（要求、要望）であった。自ら主体的に芸術文化活動を行う、あるいはサークルや団体に参加するという意見はほとんどなかった。ただ、前問にもあるような、「参加型」の企画があれば参加したいという意見は若い世代にあった。（意見数 198）
- 「参加しやすくなる条件」として出た主な意見を対象にその背景と対応の方向を以下に記す。

参加しやすくなる条件	背景	対応の方向（一例）
質の高い公演（展示）の鑑賞	酒田での公演自体が少ない 市民文化団体の研鑽の不足	・庄内地方全体で連携や役割分担を考える ・評価し合う習慣をつくる
無料か低い料金設定	子育て世代や高齢者は経済的余裕がない 低料金で敷居を低くする（お試し） リピーターを増やす	・子ども対象の活動には公的支援を行う。企業との連携を模索する ・“入門的”イベントを企画する ・他施設との共通券を開発する

交通手段（含交通費、駐車場）	公共交通の整備が十分でない 高齢になると車の運転が負担	・総合的な交通体系を整備する ・乗り合いなどの仕組みをつくる
障がい者、高齢者、介護	施設がバリアフリーではない 障害があっても楽しめる工夫が足りない 介護等で外出が困難	・公共的施設のバリアフリー化 ・多様な受け取り方ができる表現を模索する ・社会包摂の視点から、アウトリーチ等を試みる
情報発信	イベント等の情報発信が不足している “楽しさ”が伝えきれていない	・ポータルサイトの開設 ・情報発信にデザイナー等の専門家の参加を求める

○参加しやすくなる条件を考える上で興味深い意見（要旨）と今後の検討方向をあげておく。

<p>■無料でライブをやってみたら、思いのほか老人から若者まで集まった。町中で、人が集まりやすい場所で（バスなど）魅力的な活動活動が出来ますように。</p> <p>→ 場所や表現方法を、既成の枠を取り払ってやってみると、課題だと思っていたことが案外簡単に解決するかもしれない。</p> <p>■「まちぶら散歩」はとても良い企画だ。自由であり、酒田のまちの知っている場所を新たな視点で見直すことができる。</p> <p>→ “いま、そこにある”ものを「枠を取り払ったり広げる」ことで再発見していき、新たな資源として共有・活用する。これも、芸術文化の応用＝効用のひとつ。</p> <p>■オープンアトリエの設置、防音対策された部屋の設置（音楽活動をしている個人・団体対象）、発信力の向上（芸術文化活動の魅力を発信する）、練習や制作する場所の設置（活動はしたいが制作できるスペースがないため、活動するのが困難な人向け）。</p> <p>→ 10代の学生の意見であるが、芸術文化活動を行っている人や団体にとっての切実な課題の解決策を具体的に提案している。官民を問わず空き空間の活用により実施可能性は高い。</p>
--

○ちなみに、「山形県文化振興プラン」（平成 28 年 3 月）に掲載の山形県の文化芸術に対する県民意識によると、文化芸術の鑑賞や活動を行う上での課題は、上位から、「鑑賞してみたいと思うイベント・催事が誘致開催される機会が少ない」（44.7%）、「文化芸術鑑賞や活動を行うための時間的又は金銭的余裕があまりない」（35.8%）、「一流の文化芸術鑑賞をするための十分な機能を備えた施設が少ない」（29.2%）、「幼少期から文化芸術鑑賞や活動に触れる機会が十分に確保されていない」（28.4%）などがあがっている。これを見ると、酒田市でも県全体とさほど変わるところはないことがわかる。

以上

酒田市芸術文化振興計画（仮称）策定に伴うアンケート

基本事項	住所	・旧市内 ・平田地区 ・松山地区 ・八幡地区
	年齢	・10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代 ・80代 ・90歳以上
	性別	・男性 ・女性
	職業	・会社員 ・自営業 ・公務員 ・学生 ・無職

【ことばの定義】文化芸術基本法に基づくものです。

このたびのアンケートの中で使われている「芸術文化」とは、下記の芸術文化活動すべてを含んでいます。

芸術文化とは・・・

芸術（文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術）、芸能（漫談、落語、浪曲、講談、漫才、歌唱その他の芸能）

生活文化（茶道、華道、書道、食文化など生活に係る文化）、民俗芸能（地域の人々によって行われる民俗的な芸能）

伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎その他のわが国古来の伝統的な芸能）、国民娯楽（囲碁、将棋その他の国民的娯楽）などその他創造的な諸活動

芸術文化活動に対してお伺いします。

問1	芸術文化活動のしやすさ	<p>酒田市は芸術文化活動（コンサート、講演会、ワークショップ、民俗芸能等）に参加（鑑賞も含む）しやすいまちだと思いますか。</p> <p>①そう思う ②ある程度そう思う ③どちらともいえない ④あまりそう思わない ⑤全くそう思わない</p> <p>◆④及び⑤の方におたずねします。 理由をご記入ください。 ()</p>
問2	芸術文化活動のしやすさ	<p>この1年間に、芸術文化活動に参加しましたか。</p> <p>①参加した ②参加していない</p> <p>◆①参加している方のみご回答ください。 活動はどのような形で行っていますか。 ①サークル等に参加 ②習い事 ③その他 ()</p> <p>◆②参加していない方のみご回答ください。（複数回答可） 芸術文化活動をしていない理由は何ですか。 ①費用がかかるから ②身近な所に施設がないから ③きっかけがないから ④めんどうだから ⑤仕事や家事が忙しいから ⑥自分の希望にあう文化活動がないから ⑦必要な情報がなかなか入手できないから ⑧身近にある施設が使いにくいから ⑨芸術文化活動に興味がないから ⑩その他 ()</p>
問3	芸術文化活動のしやすさ	<p>酒田市の芸術文化活動の現状に満足していますか。</p> <p>①満足している ②ほぼ満足している ③やや不満である ④不満である ⑤わからない</p> <p>◆③及び④の方におたずねします。 理由をご記入ください。 []</p>

鑑賞機会についてお伺いします。

問4	鑑賞機会の充実	<p>この1年間に、芸術文化施設等で鑑賞をしましたか。</p> <p>①鑑賞した ②鑑賞していない</p> <p>◆鑑賞した方のみご回答ください。 何の鑑賞をされましたか。 ※自由回答 ()</p> <p>◆鑑賞をしていない方のみご回答ください。(複数回答可能) 鑑賞をしていない理由は何ですか。</p> <p>①費用がかかるから ②身近なところに施設がないから ③きっかけがないから ④めんどうだから ⑤仕事や家事が忙しいから ⑥自分の希望にあう鑑賞事業がないから ⑦必要な情報がなかなか入手しにくいから ⑧身近にある施設が使いにくいから ⑨芸術文化活動に関心がないから ⑩その他 ()</p>
問5	鑑賞機会の充実	<p>どのようなものを鑑賞したいと思いますか。</p> <p>※自由回答</p>

酒田市についてお伺いします。

問6	芸術文化と酒田の活力	<p>酒田市は活力あるまちだと思いますか。</p> <p>①思う ②ほぼそう思う ③あまり思わない ④思わない</p> <p>◆①及び②の方におたずねします。 理由をご記入ください。 ()</p> <p>◆③及び④の方にお尋ねします。 理由をご記入ください。 ()</p>
問7	芸術文化と酒田の活力	<p>酒田市の活力に芸術文化は必要だと思いますか。</p> <p>①思う ②ほぼそう思う ③あまり思わない ④思わない</p>
問8	芸術文化と酒田の発信力	<p>酒田市は、市外に発信力のあるまちだと思いますか。</p> <p>①思う ②ほぼそう思う ③あまり思わない ④思わない</p> <p>◆③及び④の方におたずねします。 理由をご記入ください。 []</p>

酒田市の文化資源についてお伺いします。

問9	酒田市の文化資源	<p>酒田市にある文化資源について、誇りをもっていますか。</p> <p>※文化資源とは、酒田市美術館、酒田市民会館「希望ホール」、本間美術館、土門拳記念館などの文化施設や、文学、舞踊、伝統芸能をはじめとする文化活動に関係するもの。</p> <p>①誇りを持っている ②誇りを持っていない ③文化資源を知らない</p>
問10	酒田市の文化資源	<p>酒田市の文化資源で、国内外に誇れると思う文化は何だと思えますか。</p> <p>※自由回答</p>
問11	酒田市の文化資源	<p>酒田市で行われている文化事業で誇れると思うものはありますか。</p> <p>※自由回答</p>
問12	酒田市の文化資源	<p>酒田市内で文化活動をしている方を知っていますか。</p> <p>①知っている (ジャンル:) ②知らない</p>

酒田市の主要な文化施設についてお伺いします。

問13	文化施設に対する関心度	<p>酒田市民会館「希望ホール」を知っていますか。</p> <p>①知っている ②知らない</p>
問14	文化施設に対する関心度	<p>酒田市民会館「希望ホール」に行ったことがありますか。</p> <p>①1回行ったことがある ②複数回行ったことがある (回程度) ③行ったことない</p> <p>◆③行ったことがないと回答した方のみご回答ください。(複数回答可)</p> <p>①費用がかかるから ②希望ホールまで距離があるから ③きっかけがないから ④めんどうだから ⑤仕事や家事が忙しいから ⑥自分の希望にあう公演等がないから ⑦必要な情報がなかなか入手できないから ⑧希望ホールで行われる事業に興味がないから ⑨その他 ()</p>
問15	文化施設に対する関心度	<p>土門拳記念館を知っていますか。</p> <p>①知っている ②知らない</p>
問16	文化施設に対する関心度	<p>土門拳記念館に行ったことがありますか。</p> <p>①1回行ったことがある ②複数回行ったことがある (回程度) ③行ったことがない</p> <p>◆③行ったことがないと回答した方のみご回答ください。(複数回答可)</p> <p>①費用がかかるから ②土門拳記念館まで距離があるから ③きっかけがないから ④めんどうだから ⑤仕事や家事が忙しいから ⑥自分の希望にあう展示等がないから ⑦必要な情報がなかなか入手できないから ⑧土門拳記念館で行われる事業に興味がないから ⑨その他 ()</p>

問17	文化施設に対する関心度	酒田市美術館を知っていますか。 ①知っている ②知らない
問18	文化施設に対する関心度	酒田市美術館に行ったことがありますか。 ①1回行ったことがある ②複数回行ったことがある(回程度) ③行ったことがない ◆③行ったことがないと回答した方のみご回答ください。(複数回答可) ①費用がかかるから ②酒田市美術館まで距離があるから ③きっかけがないから ④めんどうだから ⑤仕事や家事が忙しいから ⑥自分の希望にあう展示等がないから ⑦必要な情報がなかなか入手できないから ⑧酒田市美術館で行われる事業に興味がないから ⑨その他()
問19	文化施設に対する関心度	本間美術館を知っていますか。 ①知っている ②知らない
問20	文化施設に対する関心度	本間美術館に行ったことがありますか。 ①1回行ったことがある ②複数回行ったことがある(回程度) ③行ったことがない ◆③行ったことがないと回答した方のみご回答ください。 ①費用がかかるから ②本間美術館まで距離があるから ③きっかけがないから ④めんどうだから ⑤仕事や家事が忙しいから ⑥自分の希望にあう展示等がないから ⑦必要な情報がなかなか入手できないから ⑧本間美術館で行われる事業に興味がないから ⑨その他()
問21	社会教育施設に対する関心度	現在お住まいの地域のコミュニティセンター(公民館)を知っていますか。 ①知っている ②知らない
問22	社会教育施設に対する関心度	現在お住まいの地域のコミュニティセンター(公民館)に行ったことがありますか。 ①1回行ったことがある ②複数回行ったことがある(回程度) ③行ったことがない ◆③行ったことがないと回答した方のみご回答ください。(複数回答可) ①コミュニティセンターまで距離があるから ②きっかけがないから ③めんどうだから ④仕事や家事が忙しいから ⑤自分の希望にあう活動等がないから ⑥必要な情報がなかなか入手できないから ⑦コミュニティセンターで行われる事業に興味がないから ⑧その他()
問23	社会教育施設に対する関心度	コミュニティセンター(公民館)での芸術文化活動に満足していますか。

		<p>①満足している ②ほぼ満足している ③やや不満である ④不満である ⑤無回答</p> <p>◆③及び④の方におたずねします。 理由をご記入ください。 ()</p> <p>◆③及び④の方におたずねします。 どのような活動があれば参加しやすいと思いますか。</p> <p>①体験型事業 ②参加型事業 ③交流を目的にした事業 ④講座的な事業 ※講師を招いて行う事業 ⑤その他 ()</p>
--	--	--

問24	社会教育施設に対する関心度	<p>酒田市総合文化センターを知っていますか。</p> <p>①知っている ②知らない</p>
-----	---------------	---

問25	社会教育施設に対する関心度	<p>酒田市総合文化センターに行ったことがありますか。</p> <p>①1回行ったことがある ②複数回行ったことがある (回程度) ③行ったことがない</p> <p>◆③行ったことがないと回答した方のみご回答ください。(複数回答可)</p> <p>①費用がかかるから ②酒田市総合文化センターまで距離があるから ③きっかけがないから ④めんどうだから ⑤仕事や家事が忙しいから ⑥自分の希望にあう活動等がないから ⑦必要な情報がなかなか入手できないから ⑧酒田市総合文化センターで行われる事業に興味がないから ⑨その他 ()</p>
-----	---------------	--

人材育成についてお伺いします。

問26	子どもの芸術文化に触れる機会の充実	<p>酒田市において、子どもたちが芸術文化に触れる機会の提供に満足していますか。</p> <p>①満足している ②ほぼ満足している ③やや不満である ④不満である ⑤わからない</p>
-----	-------------------	--

問27	子どもの芸術文化に触れる機会の充実	<p>学校での芸術文化活動に満足していますか。</p> <p>①満足している ②ほぼ満足している ③やや不満である ④不満である ⑤わからない</p>
-----	-------------------	---

問28	子どもの芸術文化に触れる機会の充実	<p>酒田市では、将来への投資として、子どもたちの教育・人材育成に重点を置いた芸術文化事業の展開を考えています。このことについてどう思いますか。</p> <p>①とても良い ②良い ③あまり良くない ④良くない ⑤その他 ()</p>
-----	-------------------	--

酒田市が目指す方向性についてお伺いします。

問29	社会包摂について	<p>芸術文化は、孤立、コミュニケーション能力の低下、不登校など社会の課題に対しても効果があるといわれています。酒田市としては、社会の課題に対して事業を展開することで、より多くの方が元気になるような方向性を目指していきたいと考えています。このことについてどのようにお考えになりますか。</p> <p>※自由回答</p>
問30	国際交流について	<p>昨年度、土門拳の作品展をイタリアのローマで開催しました。芸術文化は、外国の人たちとコミュニケーションを図る上でも意義のあるものとして認識されています。酒田市としては芸術文化を国際交流にも活かしていきたいと考えますが、このことについてどのようにお考えになりますか。</p> <p>※自由回答</p>
問31	芸術文化活動を行う環境について	<p>芸術文化の分野では、家族構成、所得、健康状態等が活動に影響をもたらすことが言われています。このことから、差し支えなければ、現在の状況にご回答いただければ幸いです。</p> <p>※以下の質問内容については、ホームページ等では公表はいたしません。</p> <p>●世帯所得について</p> <p>① ～200万円未満 ② 200万円以上～400万円未満 ③ 400万円以上～600万円未満 ④ 600万円以上～800万円未満 ⑤ 800万円以上～1000万円未満 ⑥ 1000万円以上</p> <p>●家族構成</p> <p>① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人以上</p> <p>●健康状態について</p> <p>① とても健康である ② あまり健康ではない ③ まあ健康である ④ 健康ではない ⑤ 無回答</p>
どのような事業（芸術文化活動）をご希望ですか。		
例) 質の高い公演の鑑賞、参加型の公演、酒田だけのオリジナル作品など		
※自由回答		
どのようにすれば芸術文化活動に参加しやすくなりますか。		
※自由回答		

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケートは、芸術文化振興計画（仮称）策定のために活用させていただきます。

【資料 2】 酒田市芸術文化振興計画（仮称）策定
インタビューの結果は、プライバシーに関する内
容が含まれるため、公表しません。

基本目標・基本的施策体系図 (案)

【資料 4】

<目的>

<芸術文化振興計画>

市民による文化の力で、酒田のまちを元気にしよう！

<基本目標>

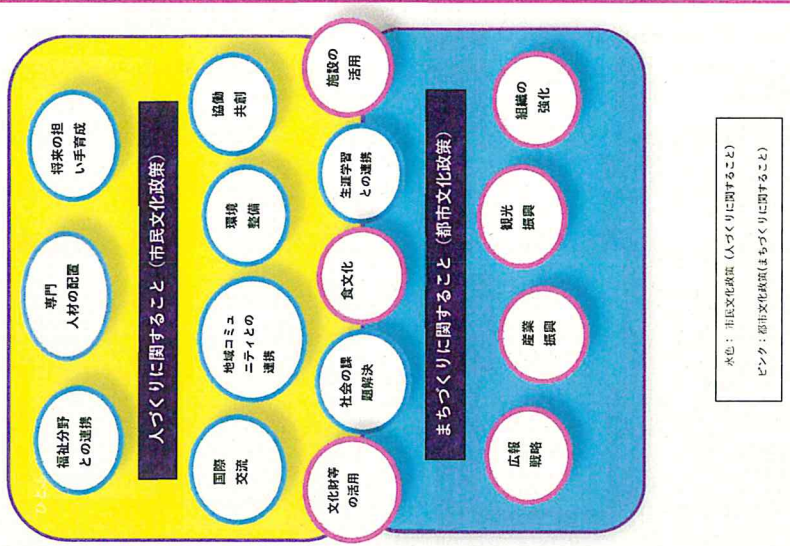
自由で多様性を認める
心豊かな市民生活の実現

誇りもてる
酒田らしさの創造

●都市アイデンティティの創造



人づくり	まちづくり	基本的施策
●		芸術文化活動を行う環境の整備
●		誰もが芸術文化に親しむことが出来る文化的環境の整備
●		学校教育における芸術文化活動の充実
●		将来の芸術文化の担い手の育成
●		芸術文化活動を支える人材の育成
●		市民との協働・共創
●		地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
●		芸術文化による国際交流
●		専門性の高い文化の仕掛け人の配置
●	●	芸術文化による社会課題解決
●	●	文化施策と生涯学習との連携及び強化
●	●	多様な分野との連携及びネットワークづくり
●	●	文化財等の地域資源の活用
●	●	酒田らしいまちの景観の創出
●	●	文化施設の活用
●	●	食文化
	●	観光との連携
	●	産業との連携
	●	組織体制の強化
	●	市民の視点にたった情報発信・広報戦略



水色：市民文化政策 (人づくりに関すること)
ピンク：都市文化政策 (まちづくりに関すること)

芸術文化振興計画（案）の方向性について

政策の方向性	政策の区分	目的	主体	方向性	主な分野	事業内容（例）	具体的な事業（例）
<p>◆水平的文化政策</p> <p>※公平・平等等・人権の 基本理念に立脚するもの —社会政策的事業</p> <p>パブリック・ベネフィット ※公平・平等</p>	<p>◇市民文化政策 (市民の文化的人権保障)</p> <p>※公平・平等を理念とする人 権を基礎とした市民文化政策</p>	<p>【文化権】</p> <p>文化的人権保障</p> <p>※世界人権宣言・国際人権規約・各 種条約等で保障</p>	<p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すべての分野 ▲ 0歳～100歳まで ■ 地理的条件 	<p>未来への投資</p>	<p>教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校・高校等との連携のもとに実施する事業 ・鑑賞事業 ・展示事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ ・コンサートの実施
<p>◆垂直的文化政策</p> <p>※選択・集中・活性化と いう戦略的思考に立脚する もの —文化開発発信事業</p> <p>パブリック・インタレスト ※みんなに及ぶ経済的利益</p>	<p>◇都市文化政策 (都市発展戦略)</p> <p>※経済発展と持続可能な都市 発展をねらう選択・集中型</p>	<p>【都市戦略】</p>	<p>企業・行政</p>	<p>・交流人口の増大</p> <p>・経済効果</p> <p>・にぎわい創出</p>	<p>観光振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収益性が高く集客力のある事業 ・テレビ放送等の公開番組 ・貸館事業 ・聖地巡礼 ・他館連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・人気アーティストによるコンサート ・テレビ放送等の公開番組 ・貸館事業 ・聖地巡礼 ・他館連携
<p>自治体文化政策</p>			<p>企業・行政</p>		<p>産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン、コンテンツ、プロモーション、出版、メディア等に関する事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・公募型ワークショップ ・メディア芸術クリエイターへの支援 ・出版社への支援 ・企業と協働型ワークショップの開催 ・文化財の活用に関する事業
			<p>行政</p>	<p>地域資源の活用</p>	<p>文化財</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を活用した都市景観
			<p>行政・企業・(市民)</p>	<p>地域資源の活用</p>	<p>都市景観</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を活用した都市景観
			<p>行政・企業</p>	<p>地域資源の活用</p>	<p>環境</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク関連事業